

春風をたどつて

3 時間目

名前

年 組 番

気持ちがわかる言葉を見つけ、ルウの気持ちを考えよう。

① 次の3つの点(A)~(C)について言葉に着目して、りすの「ルウ」の気持ちがわかる言葉を見つけてみよう。

	教科書の言葉	わかる「ルウ」の気持ち
A 「ノノン」にたいして	<p>「顔見知り」 「とてものがりおどろしたりす」 「声も掛けづらい」 「ノノンは、こんなかすがなにかいに気がついてたんだ。」 「ノノンといっしょなら、また……見つけられそうに気がする」</p>	<p>「なにかよく似たけれど、ふしぎなノノンに話しかけるのは、中々気がいるんだよね。」 「ノノンがうまを掛けてほしい。」 「ノノンとてもはなかいんだね。」 「ノノンといったら、もっと楽しいことありそう。」</p>
B 森や花ばたけを見ながら	<p>「この森のけしき。てせ、ぜんぜんわくわくしないよね。」 「見なれたけしきもなやめて、ためいきをつきます」 「ルウの口がり、ほう、とためいきがこぼれました。」 「この森は、こんな花ばたけが あったんだね。」</p>	<p>「この森は何もなくておもしろくないよ。」 「この森には何もないよ。」 「なんてうつくしい花ばたけなんだ。言葉も出ないよ。」 「今まで気付いていなかったし、一人だと見つけられたよ。」</p>
C 花ばたけについて	<p>「見なれたすがりの花ばたけ」 「そこにすぐ花の色は、ルウが行きたいとかね。ていたし、しんの海にそっくりな」 「さわやかな花のかがりにつまれて、」 「毒色い花ばたけの上で、昼下りの花が、さびさびとかがやいて、」</p>	<p>「どこを見てもきれいだね。」 「早くも行きたかったし、しんの海の色と同じだ。本当に海に来たみたいでうれいな。」 「いつまでも見ていづれろし、気持ちがいいうれしくてわくわくして、ハキョキ、うふんしていい。」</p>

② 今日の学習をふりかえり、学んだことや感じたことを書きましよう。

省略